

★展示 I

1. 広島の高校生が描いた原爆の絵

広島市立基町高校の生徒が、被爆者の証言をもとに絵を描く活動をしています。原爆投下直後の惨状を克明に描いた絵は、12年間で140点以上になります。今回は30点をロビーに展示。それぞれ被爆者から何度も話を聞いて高校生が絵に仕上げたもの。次世代にぜひとも伝えたいという思いが強く込められていた。



2. 明治海軍航空基地(現安城市)

「明治海軍航空基地」は旧碧海郡明治村(現安城市)にあります。南部地区)にあった海軍の飛行場です。1943年に建設され、6本の滑走路と6つの航空隊があった。明治基地は戦闘員養成の飛行場で、1945年4月に特攻隊が23名戦死しています。



3. 「原爆と人間」(全パネル展示)

広島・長崎への原爆投下による惨状を写した写真は原爆がいかに非人道的な兵器であるかを語っています。

2021年1月22日に「核兵器禁止条約」が発効しました。日本政府に早急に署名・批准を求める運動が重要になっています。



4. 豊田・トヨタと戦争

1945年8月14日(終戦前日)、トヨタ本社工場を標的に模擬原子爆弾(パンプキン)3発が投下されました。その被害について米軍資料などを調査したものを展示。

名鉄浄水駅近くに名古屋海軍基地伊保原飛行場は戦争末期には特攻隊員養成を目的にしたものです。



★催し(情報交換室)

◆朗読劇 むぎわらぼうしの会

「この子たちの夏」より抜粋

—あの時、確かに生きていた

この子たちを忘れないで—

戦争を二度と繰り返さないために。

今回も生で見る朗読劇は大好評でした。



◆戦争を聞く会

大山妙子さん

「語り継がれた長崎の原爆」

父は特攻機に搭乗前に終戦となり、長崎に帰着いた。姉と弟が語り継いだ原爆について絵本を見せて話されました。

松原勝己さん

「幼児の戦争体験」

5歳の時に体験した戦争の記憶は今もしっかりと残っています。砂糖が貴重品で普段は食べることはありません・・・。



★多目的ホール展示Ⅱ

ホール中央には賛同者から寄贈された戦争遺品が今回も多数展示されました。



平和紙芝居(まーるの会)



絵本の読み聞かせ



★多目的ホール パネル展示

今回は従来よりパネル展示を見やすく配置しました。

